

※R5.1.27差替

令和5年1月26日(木)  
令和4年度第2回沖縄県国民健康保険運営協議会

## 資料4

# 沖縄県 市町村国保の現状

(令和2年度(2020年度)事業実績)

令和5年1月  
沖縄県保健医療部国民健康保険課



# 目次

<b>1</b>	<b>保険者数、被保険者数及び世帯数</b> . . . . .	<b>1</b>
	・表1 令和2年度末現在の保険者の状況	
	・図1 加入世帯数及び被保険者の推移（平成23年度～令和2年度）	
	・図2 保険者規模別構成割合（令和2年度・都道府県別）	
<b>2</b>	<b>被保険者の年齢構成</b> . . . . .	<b>3</b>
	・図3 被保険者の年齢構成（令和2年度・都道府県別）	
	・図4 前期高齢者割合の推移（平成23年度～令和2年度）	
	・図5 前期高齢者の割合（令和2年度・都道府県別）	
	・図6 前期高齢者の割合（令和2年度・県内市町村別）	
<b>3</b>	<b>一人当たり課税標準額</b> . . . . .	<b>5</b>
	・図7 一人当たり課税標準額の推移（平成23年度～令和2年度）	
	・図8 一人当たり課税標準額（令和2年度・都道府県別）	
	・図9 一人当たり課税標準額（令和2年度・県内市町村別）	
<b>4</b>	<b>世帯の所得階層別割合</b> . . . . .	<b>7</b>
	・図10 世帯の所得階層別割合（令和2年度）	
<b>5</b>	<b>一人当たり医療費</b> . . . . .	<b>8</b>
	・図11 一人当たり医療費の推移（平成23年度～令和2年度）	
	・図12 一人当たり医療費（令和2年度・都道府県別）	
	・図13 一人当たり医療費（令和2年度・県内市町村別）	
	・図14 年齢階級別一人当たり医療費の状況（令和2年度）	
	・図15 医療費の地域差指数（令和2年度・都道府県別）	
	・図16 医療費の地域差指数（令和2年度・県内市町村別）	
<b>6</b>	<b>一人当たり保険料(税)調定額</b> . . . . .	<b>12</b>
	・図17 一人当たり保険料(税)調定額の推移（平成23年度～令和2年度）	
	・図18 一人当たり保険料(税)調定額（令和2年度・都道府県別）	
	・図19 一人当たり保険料(税)調定額（令和2年度・県内市町村別）	
<b>7</b>	<b>一人当たり保険料(税)負担率</b> . . . . .	<b>14</b>
	・図20 一人当たり保険料(税)負担率の推移（平成23年度～令和2年度）	
	・図21 一人当たり保険料(税)負担率（令和2年度・都道府県別）	
	・図22 一人当たり保険料(税)負担率（令和2年度・県内市町村別）	
<b>8</b>	<b>保険料(税)収納率</b> . . . . .	<b>16</b>
	・図23 保険料(税)収納率の推移（平成23年度～令和2年度）	
	・図24 保険料(税)収納率（令和2年度・都道府県別）	
	・図25 保険料(税)収納率（令和2年度・県内市町村別）	
	・図26 保険料(税)収納率の推移（平成30年度～令和2年度・県内市町村別）	

<b>9</b>	<b>経理状況（収入項目別内訳）</b>	<b>19</b>
9-1	収支の内訳	
	・図27 市町村特別会計における収支の内訳（令和2年度）	
	・図28 都道府県特別会計における収支の内訳（令和2年度）	
9-2	市町村特別会計の収入項目別内訳	
	・図29 市町村特別会計における収入項目別内訳（令和2年度）	
	・図30 市町村特別会計における収入項目別内訳（令和2年度・都道府県別）	
	・図31 市町村特別会計における収入項目別内訳（令和2年度・県内市町村別）	
9-3	都道府県特別会計の収入項目別内訳	
	・図32 都道府県特別会計における収入項目別内訳（令和2年度）	
	・図33 都道府県特別会計における収入項目別内訳（令和2年度・都道府県別）	
<b>10</b>	<b>法定外繰入・前年度繰上充用の状況</b>	<b>25</b>
10-1	法定外繰入の状況	
	・図34 一人当たり法定外繰入金の推移（平成23年度～令和2年度）	
	・図35 一人当たり法定外繰入金の状況（平成30年度～令和2年度・都道府県別）	
	・図36 一人当たり法定外繰入金の状況（平成30年度～令和2年度・県内市町村別）	
10-2	前年度繰上充用の状況	
	・図37 一人当たり前年度繰上充用金の推移（平成23年度～令和2年度）	
	・図38 一人当たり前年度繰上充用金の状況（令和2年度・都道府県別）	
	・図39 一人当たり前年度繰上充用金の状況（令和2年度・県内市町村別）	
<b>11</b>	<b>特定健康診査受診率・特定保健指導実施率</b>	<b>30</b>
11-1	特定健康診査受診率	
	・図40 特定健康診査受診率の推移（平成23年度～令和2年度）	
	・図41 特定健康診査受診率（令和2年度・都道府県別）	
	・図42 特定健康診査受診率（令和2年度・県内市町村別）	
11-2	特定保健指導実施率	
	・図43 特定保健指導実施率の推移（平成23年度～令和2年度）	
	・図44 特定保健指導実施率（令和2年度・都道府県別）	
	・図45 特定保健指導実施率（令和2年度・県内市町村別）	
<b>12</b>	<b>事務の共同処理の実施状況</b>	<b>34</b>
	・表2 事務の共同処理の実施状況	
<b>13</b>	<b>まとめ</b>	<b>35</b>

# 1

## 保険者数、被保険者数及び世帯数

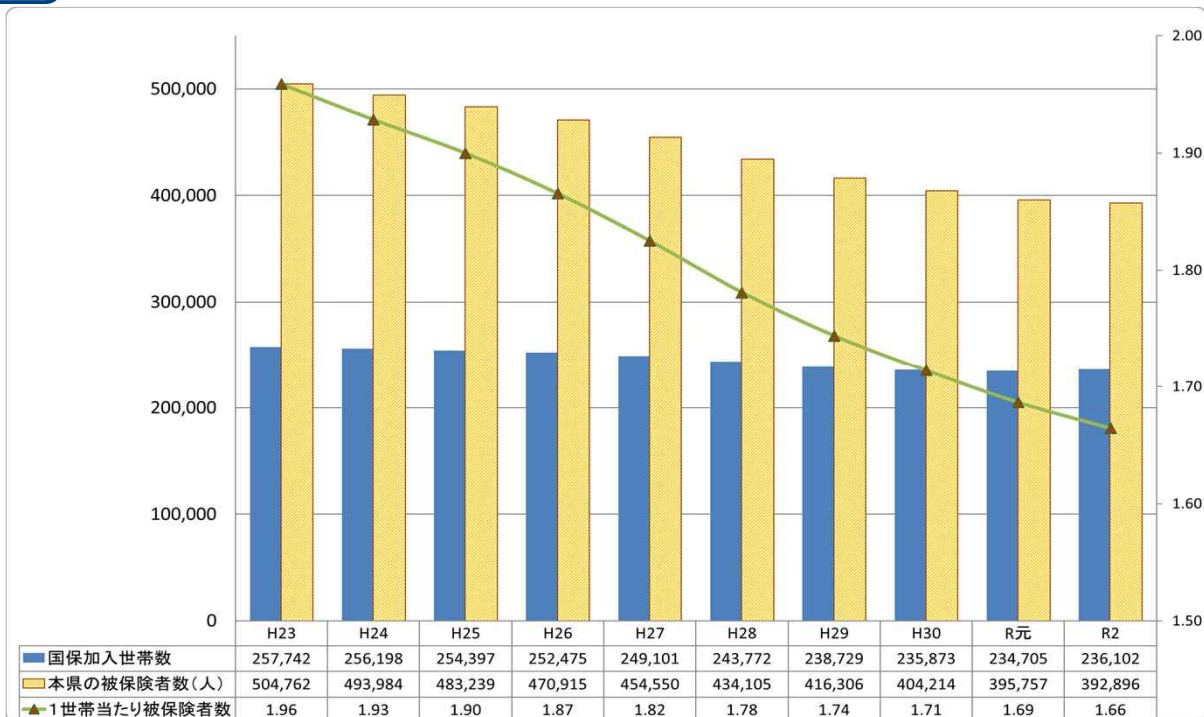
- 沖縄県の令和2年度末現在の国保加入は23.6万世帯、被保険者数は39.2万人となっており、被保険者数は減少傾向にある。（図1）
- 本県は、全国に比べ小規模保険者の割合が高く、1,000人未満の保険者の割合は全国4番目に高い。（図2再掲）

**表1** 令和2年度末現在の保険者の状況

保険者数	41市町村			
加入世帯数	236,102世帯（令和2年度末：前年度比 +1,397世帯、0.6%増）			
被保険者数	392,896人（同：前年度比 -2,861人、0.7%減）			
小規模保険者の割合	全国：	1,716保険者中	3,000人未満の保険者	559（約32.6%）
			1,000人未満の保険者	190（約11.1%）
	本県：	41保険者中	3,000人未満の保険者	17（約41.5%）
			1,000人未満の保険者	11（約26.8%）

※本県の1,000人未満の保険者：東村、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、伊平屋村、伊是名村、多良間村、与那国町

**図1** 加入世帯数及び被保険者の推移（平成23年度～令和2年度）



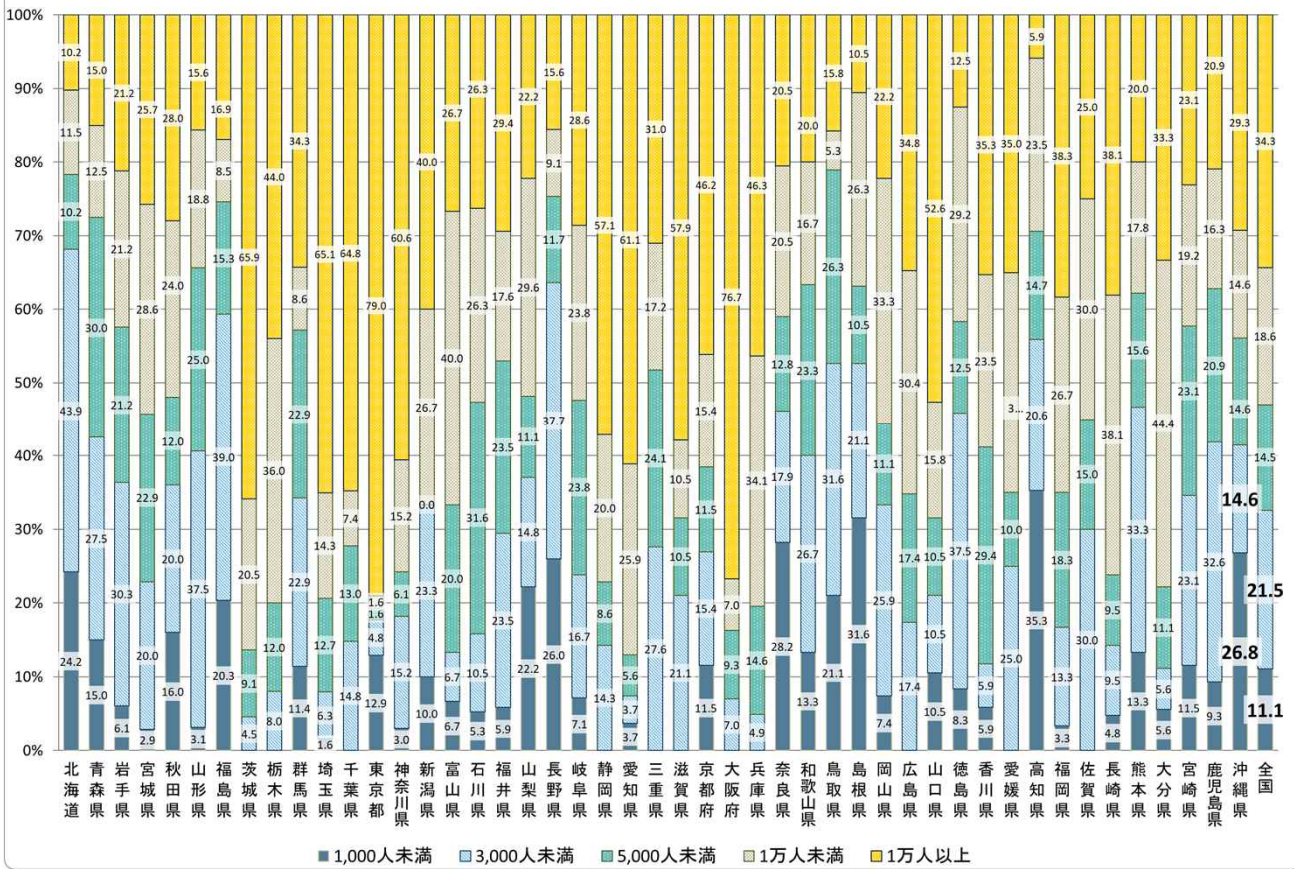
（出所）厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報」各年度



➤ 被保険者数、1世帯当たり被保険者数ともに減少傾向にある。

図2

保険者規模別構成割合（令和2年度・都道府県別）

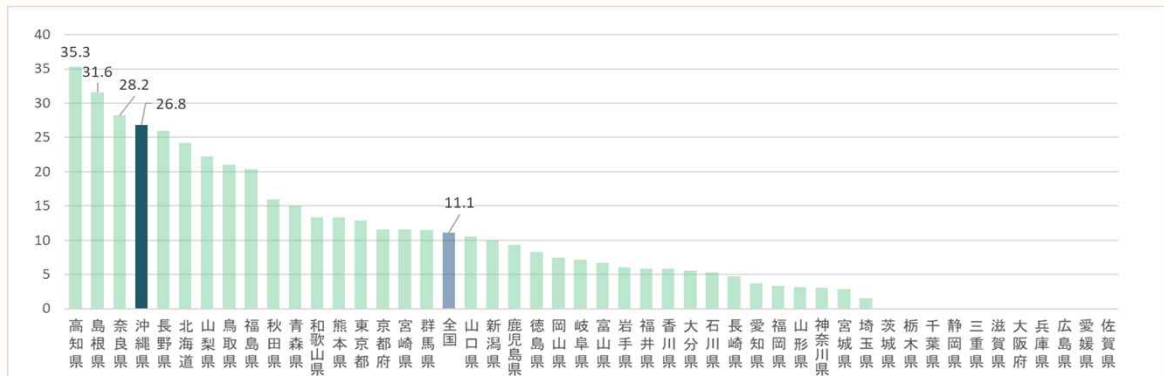


(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険実態調査報告」



- ▶ 被保険者3,000人未満の保険者割合は、沖縄県は41.5%(41保険者中17保険者)と、全国 32.6%(1,716保険者中559保険者)より8.9ポイント高い。

(図2 再掲) 被保険者1,000人未満の保険者の割合（都道府県別）



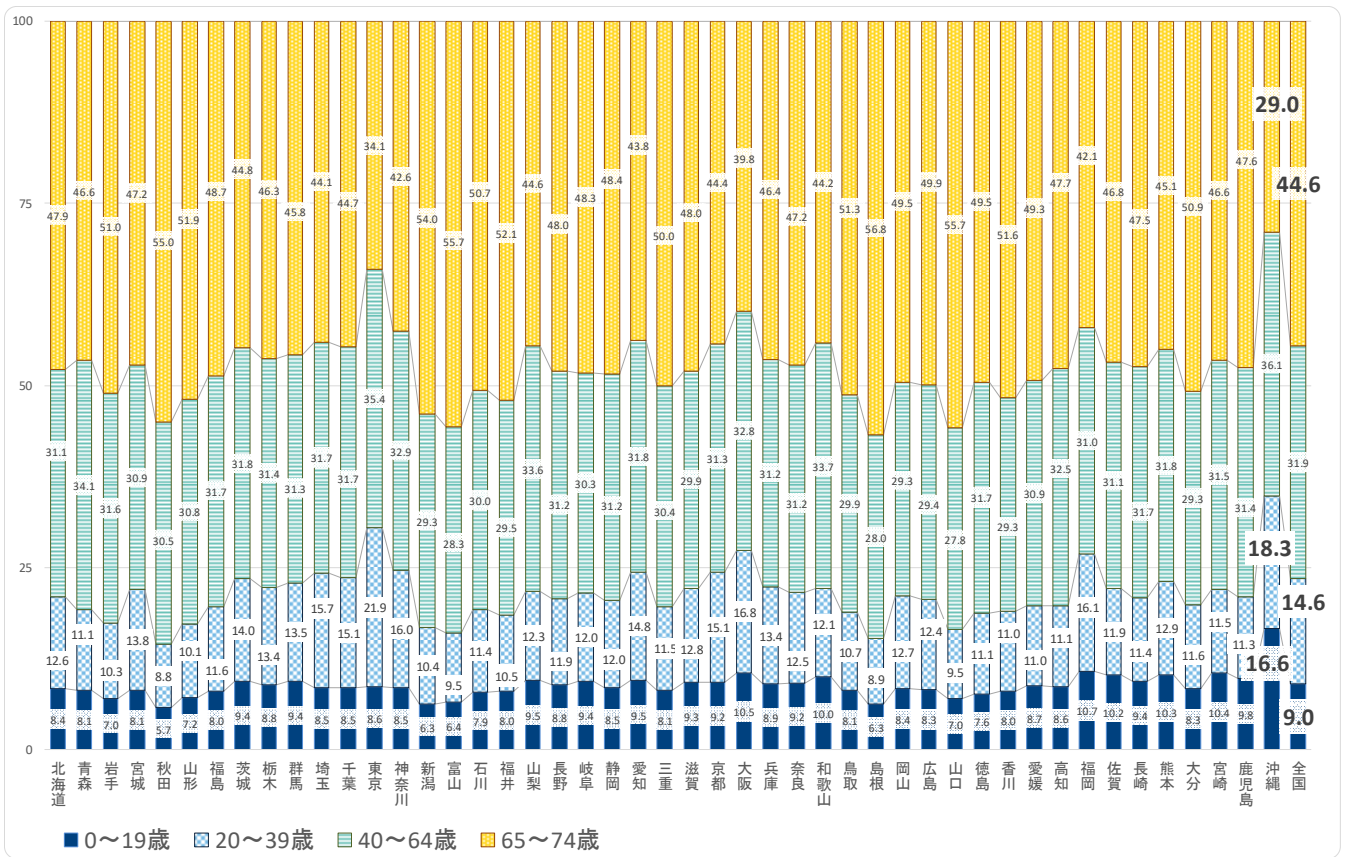
- ▶ 被保険者1,000人未満の保険者の割合は、高知県(35.3%)、島根県(31.6%)、奈良県(28.2%)に次いで、本県(26.8%)は4番目に高い。

# 2

## 被保険者の年齢構成

- 令和2年度における被保険者の年齢構成は、  
 全国：0～19歳 9.0% 20～39歳 14.6% 40～64歳 31.9% 65～74歳 44.6%  
 本県：0～19歳 16.6% 20～39歳 18.3% 40～64歳 36.1% 65～74歳 29.0%  
 となっている。（図3）
- 本県は、0～19歳の割合が全国で最も高い一方、65～74歳（前期高齢者）の割合は全国で最も低い。
- 本県の65～74歳（前期高齢者）の割合は全国で最も低いが、近年は上昇傾向にあり、高齢化が進行している。（図4、図5）  
 なお、市町村別でみると、65～74歳（前期高齢者）の割合は、渡名喜村(47.0%)が最も高く、座間味村(19.9%)が最も低い。（図6）

**図3 被保険者の年齢構成（令和2年度・都道府県別）**



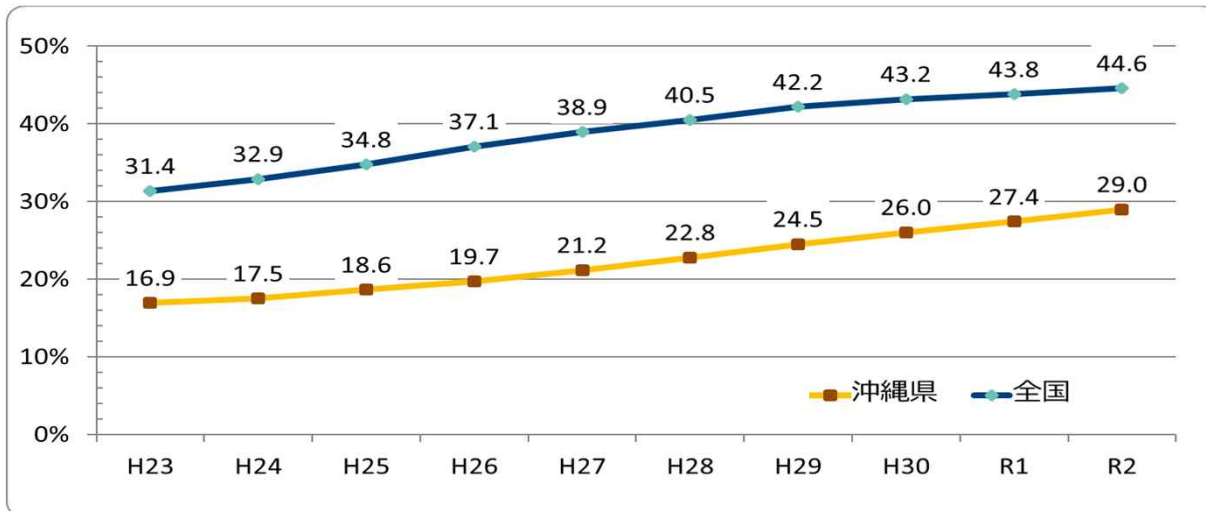
（出所）厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険実態調査報告」



- 0～19歳の割合が高い都道府県 1位：沖縄県(16.6%) 2位：福岡県(10.7%) 3位：大阪府(10.5%)
- 65～74歳の割合が高い都道府県 1位：島根県(56.8%) 2位：山口県(55.75%) 3位：富山県(55.71%)
- 65～74歳の割合が低い都道府県 1位：沖縄県(29.0%) 2位：東京都(34.1%) 3位：大阪府(39.8%)

図4

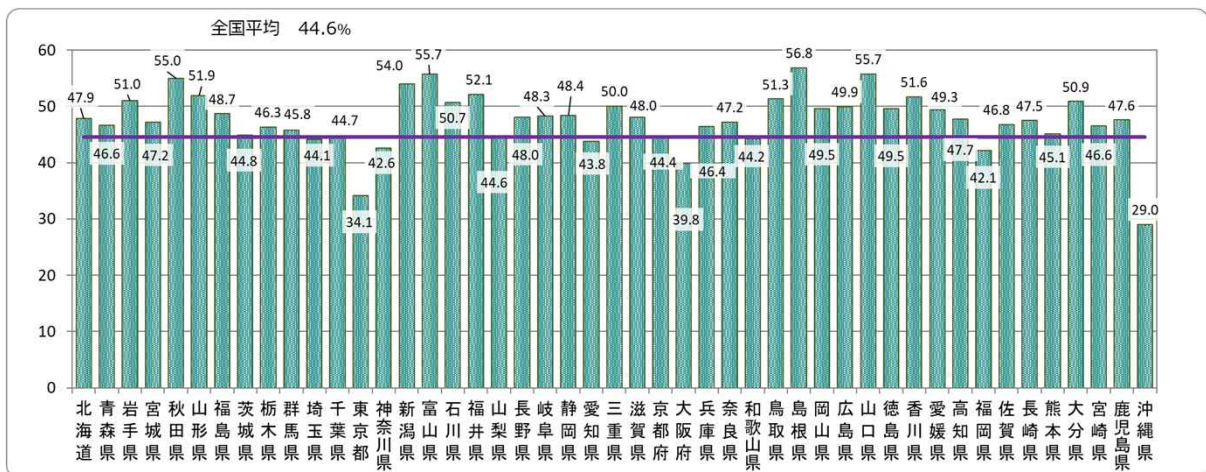
前期高齢者割合の推移（平成23年度～令和2年度）



(出所) 厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査報告」各年度

図5

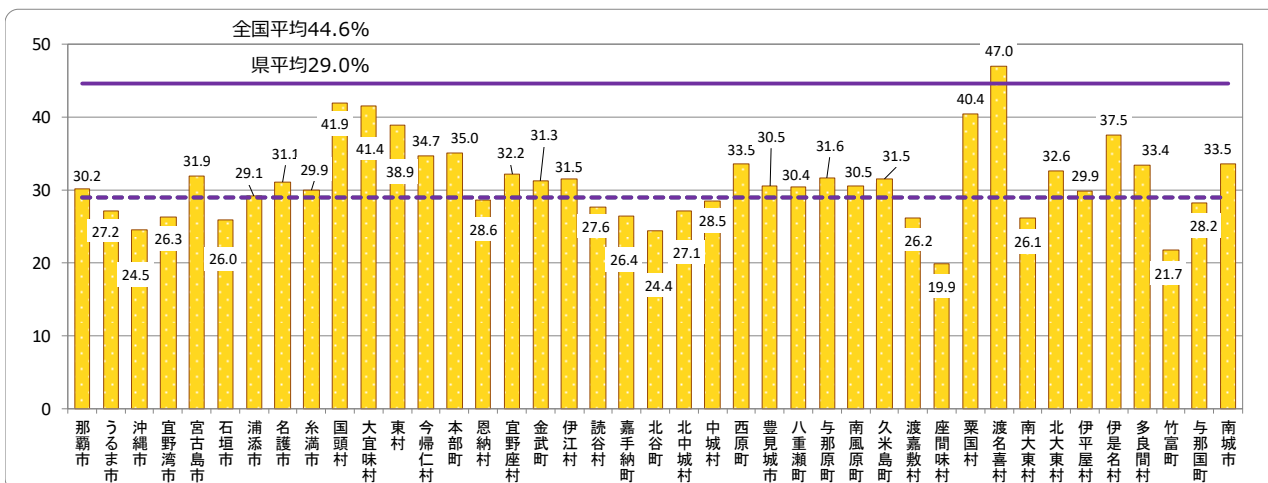
前期高齢者の割合（令和2年度・都道府県別）



(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険実態調査報告」

図6

前期高齢者の割合（令和2年度・県内市町村別）



(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険実態調査報告」

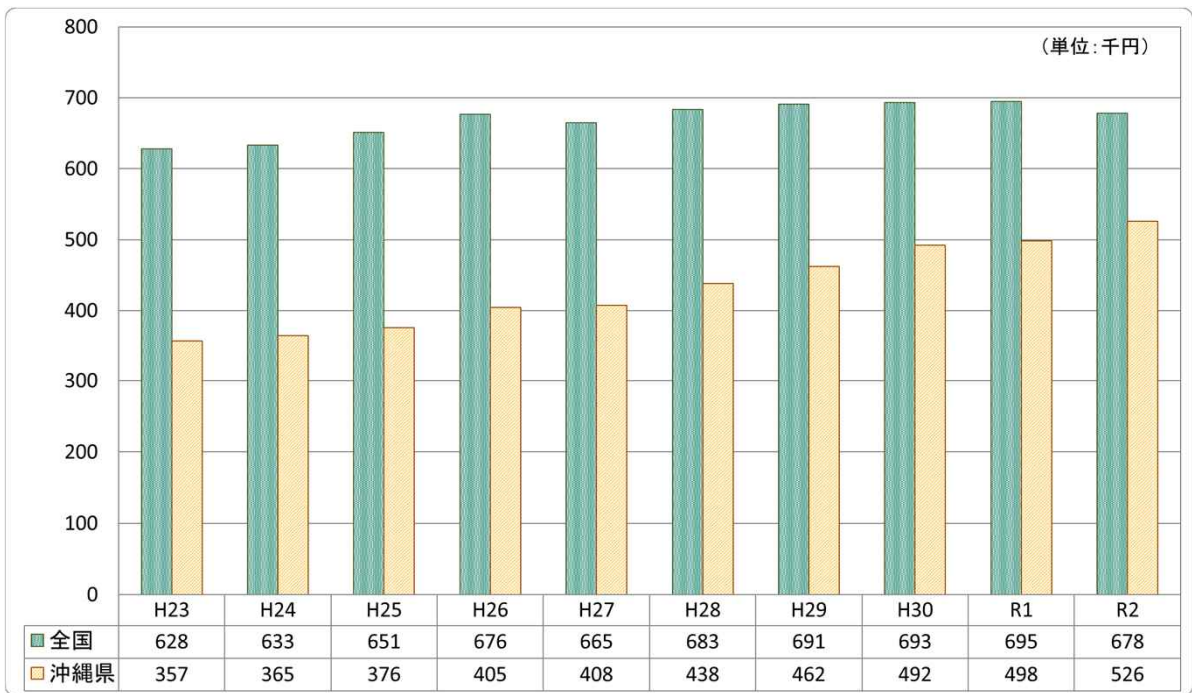
# 3

## 一人当たり課税標準額

- 令和2年度の一人当たり課税標準額(旧ただし書所得)は  
 全国：678,254円 本県：526,348円(全国第36位) となっている。
- 平成23年度以降で見ると、本県の一人当たり課税標準額は増加傾向にある。(図7)
- 市町村別で見ると、北大東村(1,385千円)が最も高く、最も低い東村(265千円)との所得格差は約5.2倍となっている。(図9)

※課税標準額とは、総所得金額等から基礎控除額33万円を除いた額。  
 いわゆる旧ただし書所得をいう。  
 ※一人当たり課税標準額 = 課税標準額 / 被保険者総数

**図7** 一人当たり課税標準額の推移 (平成23年度～令和2年度)



(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険実態調査報告」各年度



(参考) 各年度における全国と本県の一人当たり課税標準額(図7)の差

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全国ー沖縄県	271千円	268千円	275千円	272千円	257千円	245千円	229千円	201千円	197千円	152千円

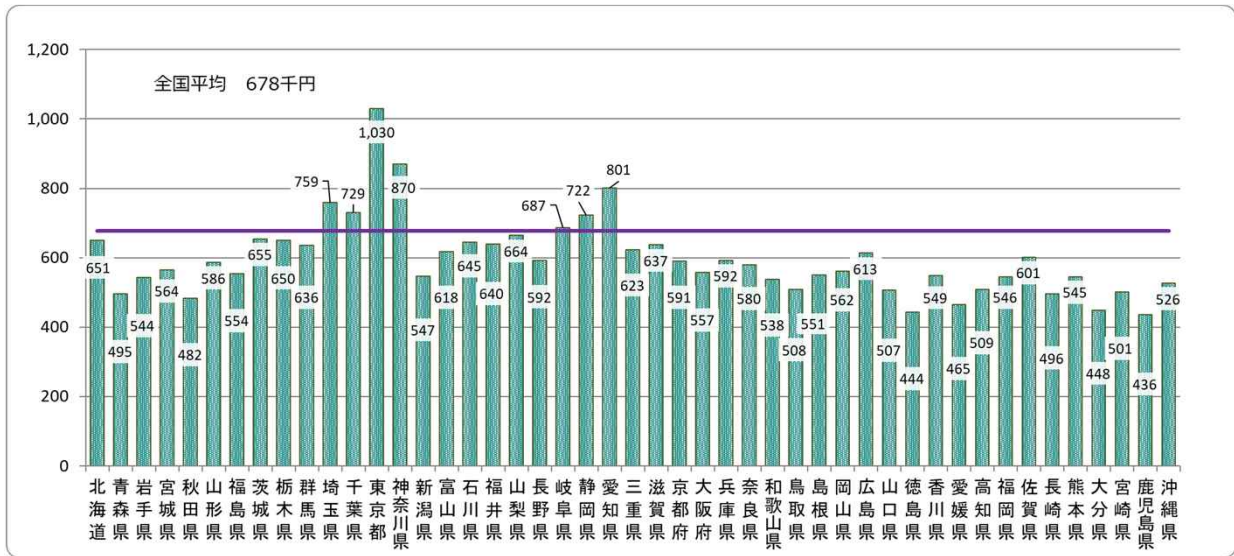
※端数処理の関係で(図7)と一致しない数字あり。

➤ 本県は全国より課税標準額は低いものの、その差は少しずつ縮小している。



図8

一人当たり課税標準額（令和2年度・都道府県別）



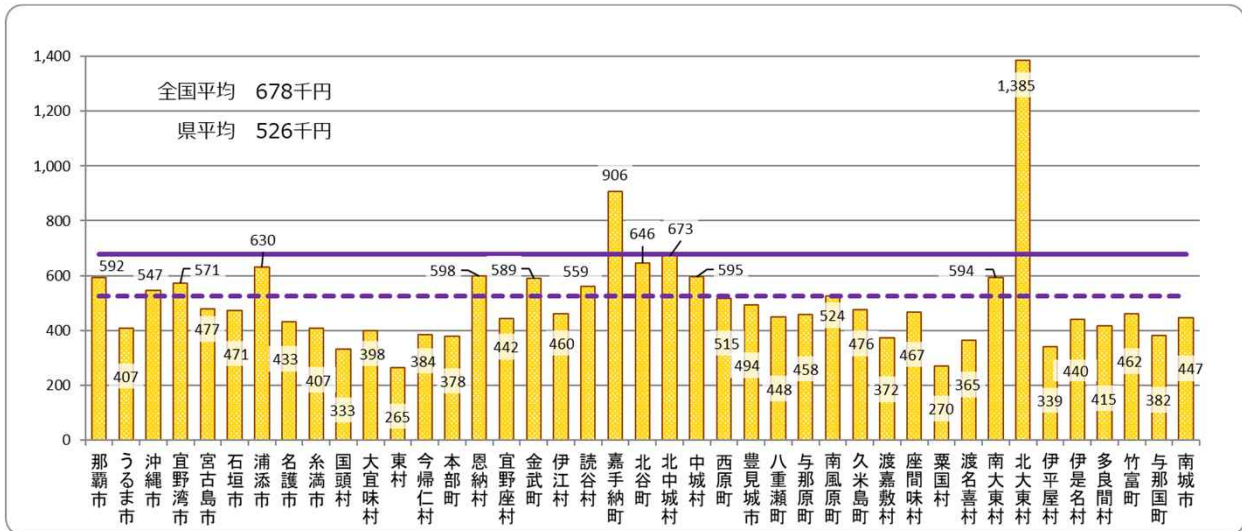
(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険実態調査報告」



- 都道府県別で見ると、東京都(1,030千円)が最も高く、最も低い鹿児島県(436千円)との所得格差は約2.4倍となっている。
- 本県(526千円)は全国第36位となっており、全国平均(678千円)より約152千円低い。

図9

一人当たり課税標準額（令和2年度・県内市町村別）



(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険実態調査報告」



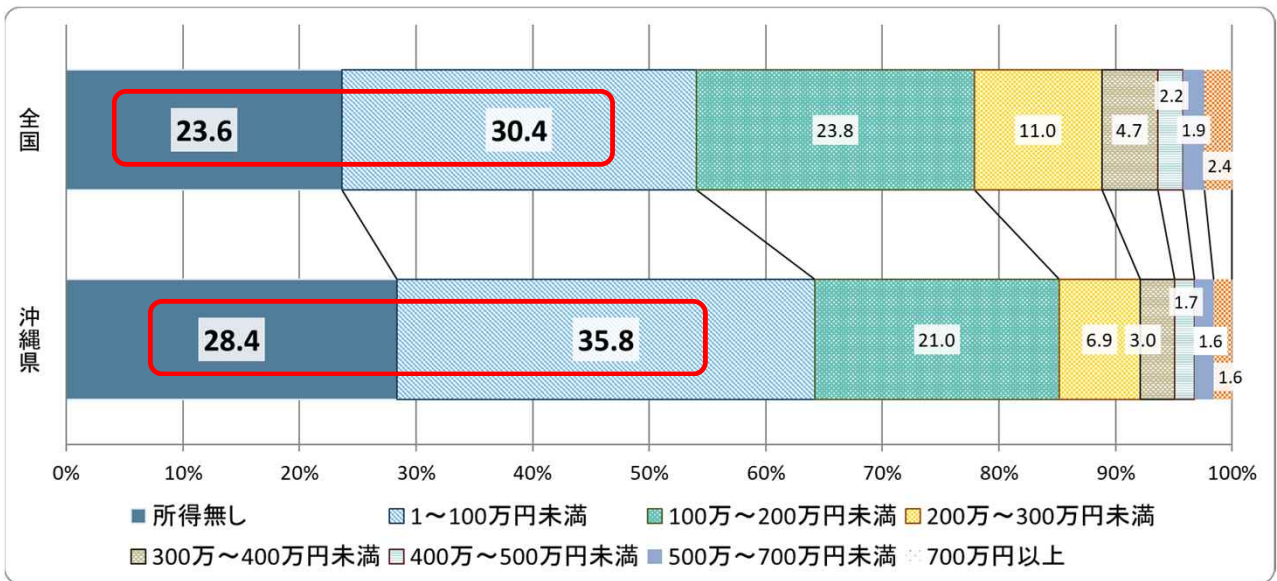
- 市町村別で見ると、北大東村(1,385千円)が最も高く、以下、嘉手納町(906千円)、北中城村(673千円)、北谷町(646千円)、浦添市(630千円)の順となっている。

# 4

## 世帯の所得階層別割合

- 令和2年度における「所得無しの世界」と及び「1～100万円未満世界」の全体に占める割合は、全国：54.0% 本県：64.2% となっており、本県は低所得世界の占める割合が高い。（図10）

**図10** 世帯の所得階層別割合（令和2年度）



（出所）厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険実態調査報告」

- ※ 擬制世界、所得不詳世界を除いて集計している。
- ※ ここでいう所得とは「旧ただし書き方式」により算定された所得総額(基礎控除前)である。
- ※ 「所得無し」世界の収入は、給与収入世界で65万円以下、年金収入世界で120万円以下。

# 5

## 一人当たり医療費

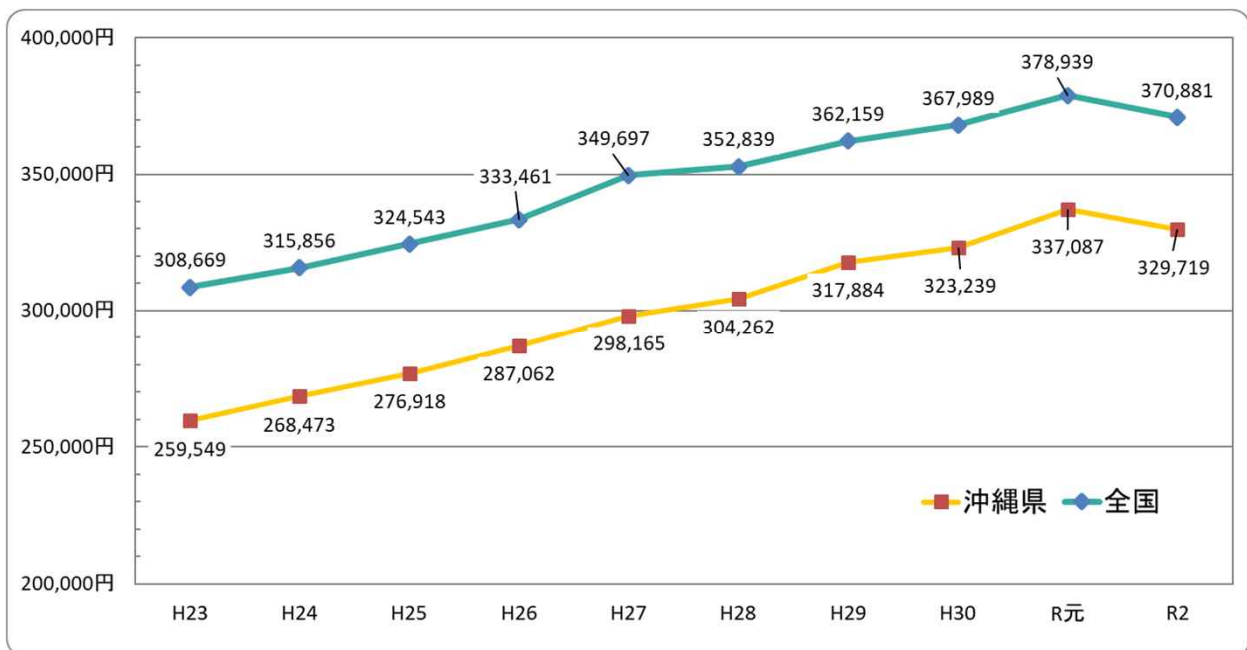
- 令和2年度の医療費は、新型コロナウイルス感染症による受診控え等の影響で全国的に低下している。一人当たり医療費は、全国の370,881円に対し、本県は329,719円となっており、全国でも最低水準にある。(図11、図12)
- 県内市町村別で見ると、渡名喜村(521,206円)が最も高く、多良間村(193,412円)が最も低い。一般的に、年齢構成の高い市町村において、一人当たり医療費が高くなる傾向にある。(図13)
- 本県の一人当たり医療費は全国平均を下回っているが(図11)、年齢階級別を全国と比較すると、65~74歳(前期高齢者)は全国平均を上回っている。(図14)
- 人口の年齢構成の相違分を補正し、全国平均を1として指数化した地域差指数(都道府県別・直接法)で見ると、本県の地域差指数は1.070と、全国平均を上回っている。(図15)
- 地域差指数(県内市町村別・間接法)で見ると、県内では、渡名喜村(1.303)が最も高く、多良間村(0.554)が最も低い。(図16)

(注)直接法：当該都道府県の年齢階級別の医療費を基礎とし、当該団体の年齢構成を全国平均の年齢構成に置き換えた場合の医療費との比較

間接法：当該市町村の年齢構成を基礎とし、年齢階級別の全国平均医療費に置き換えた場合の医療費との比較

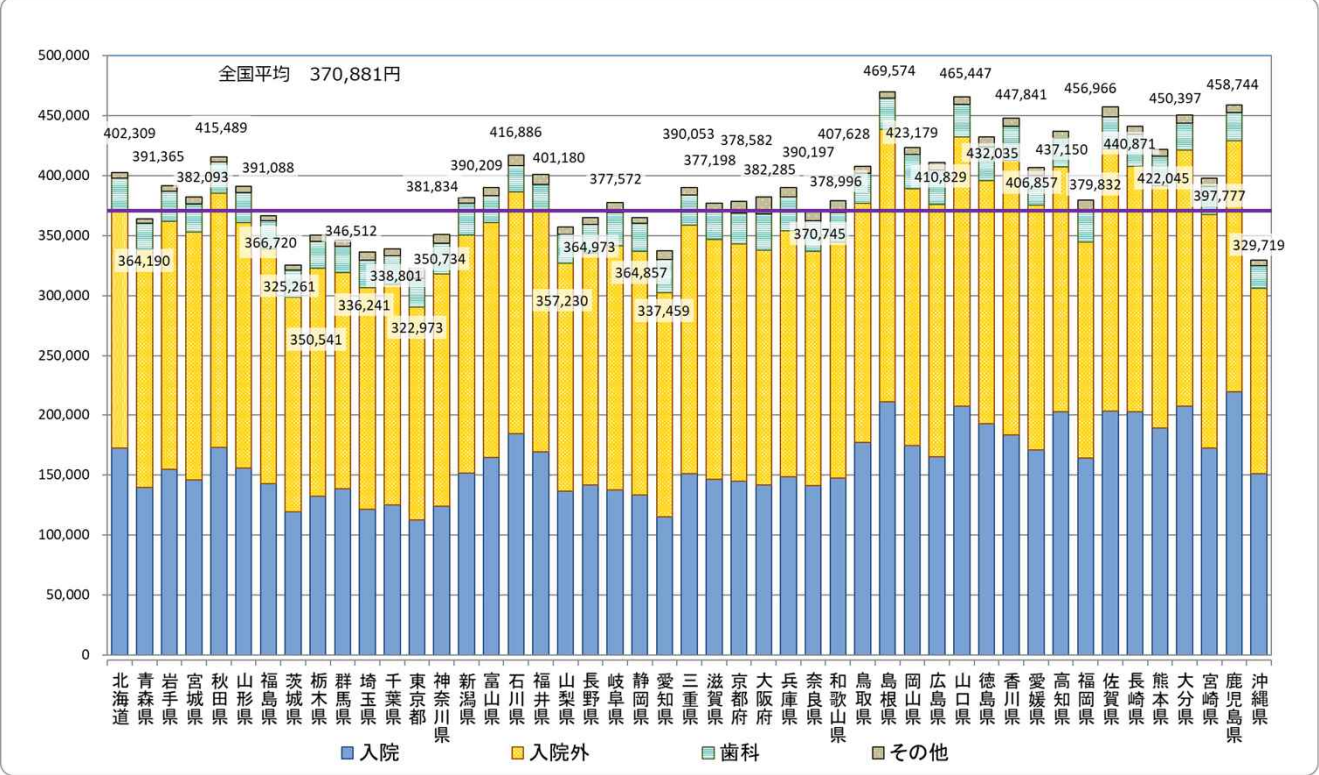
図11

一人当たり医療費の推移（平成23年度～令和2年度）



(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険事業年報」各年度

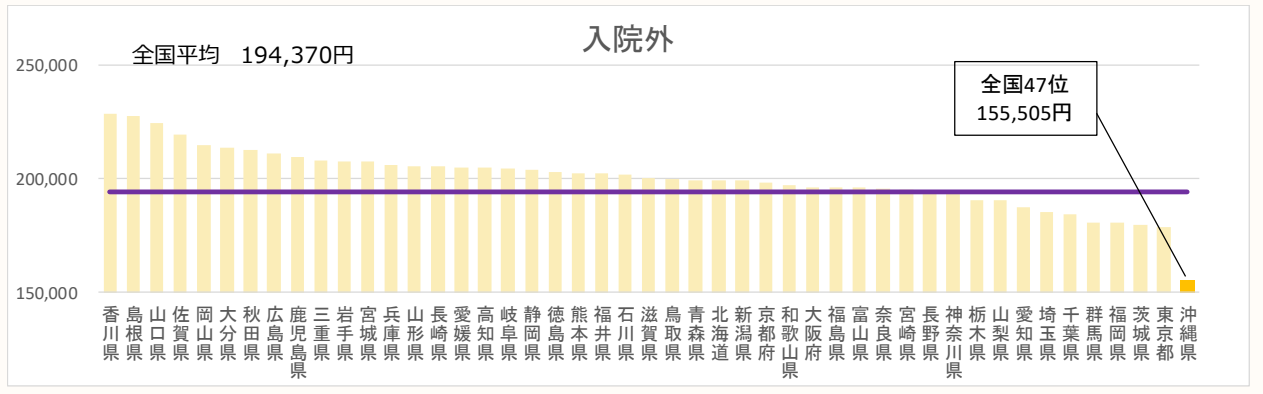
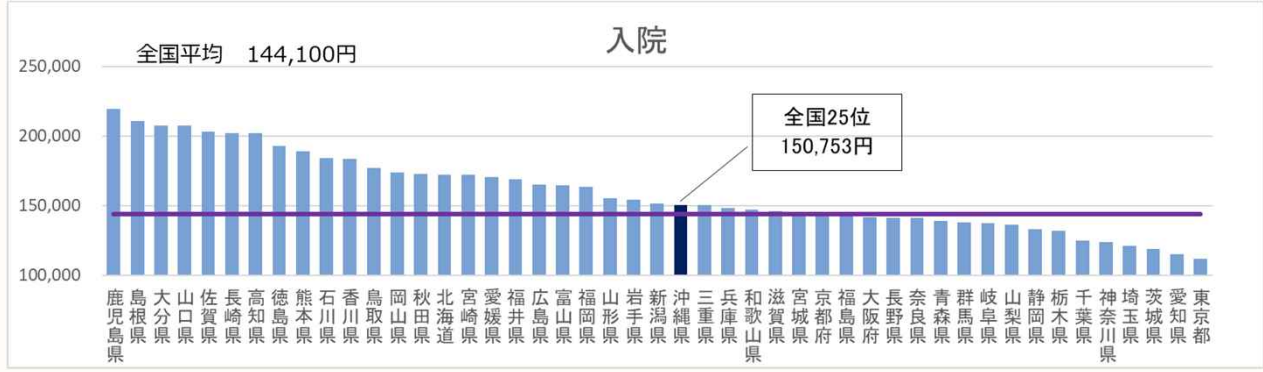
**図12 一人当たり医療費（令和2年度・都道府県別）**



(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険事業年報」

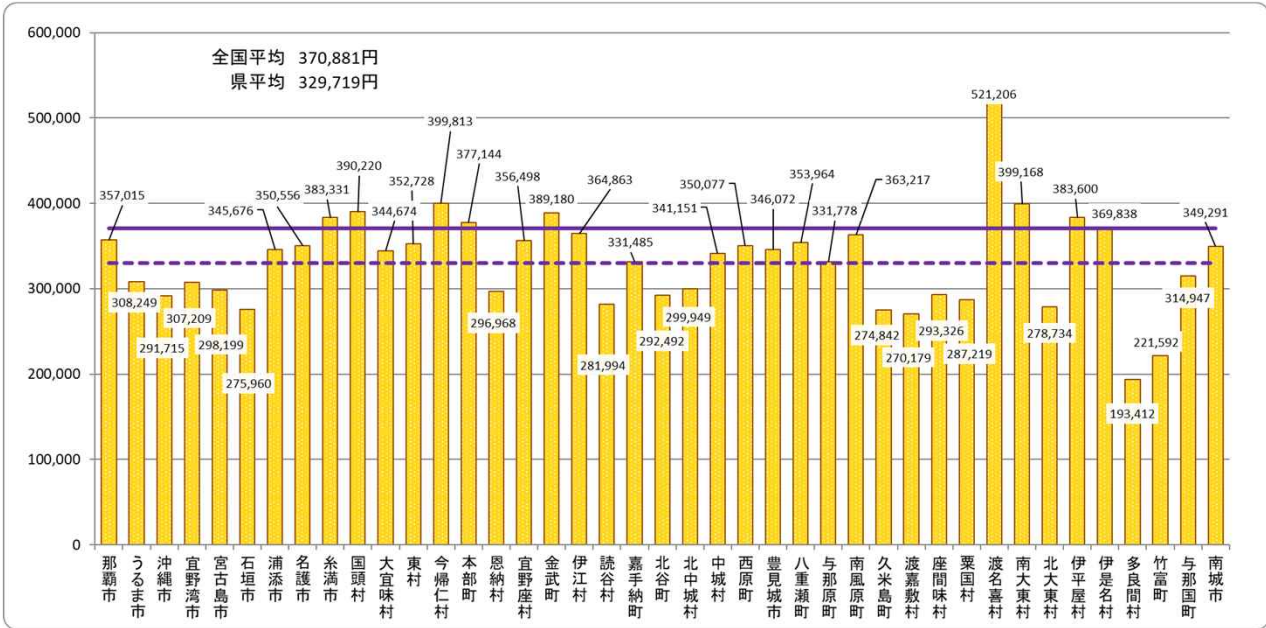


(図12 再掲) 一人当たり入院医療費と入院外医療費（令和2年度）



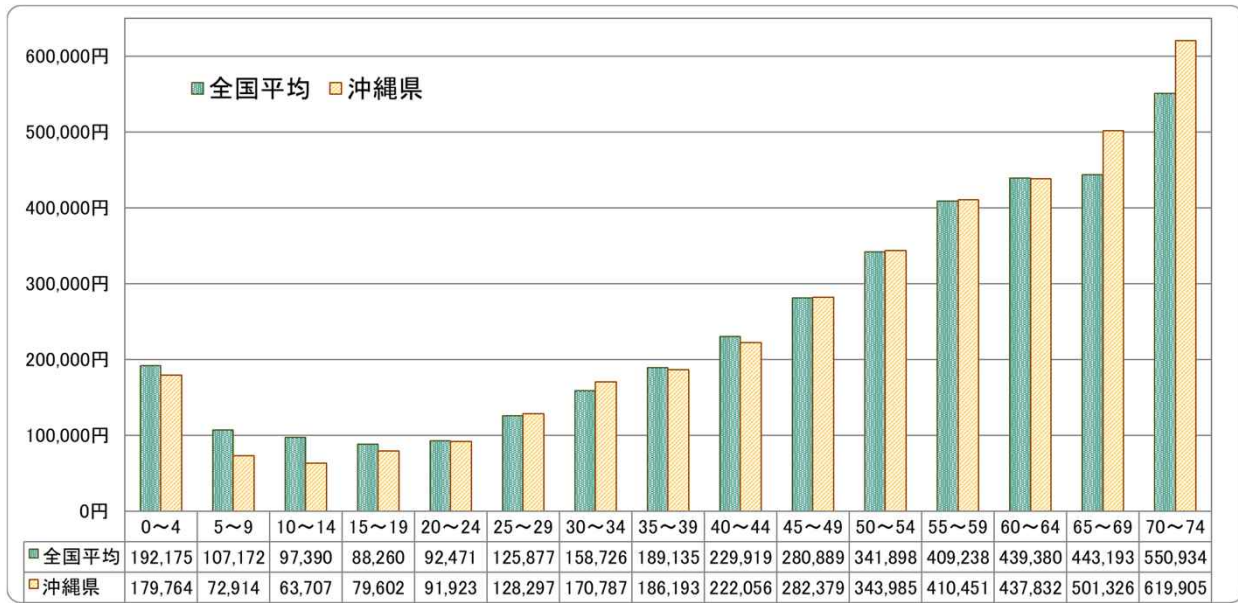
➤ 本県の一人当たりの入院医療費は150,753円(全国第25位)と全国平均(144,100円)より高いが、入院外医療費は155,505円と全国で一番低い。

# 図13 一人当たり医療費（令和2年度・県内市町村別）



(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険事業年報」

# 図14 年齢階級別一人当たり医療費の状況（令和2年度）



(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度医療給付実態調査報告」及び「令和2年度国民健康保険実態調査報告」により沖縄県作成

(参考) 各年齢階級における全国平均と沖縄県の一人当たり医療費の差

(単位: 円)

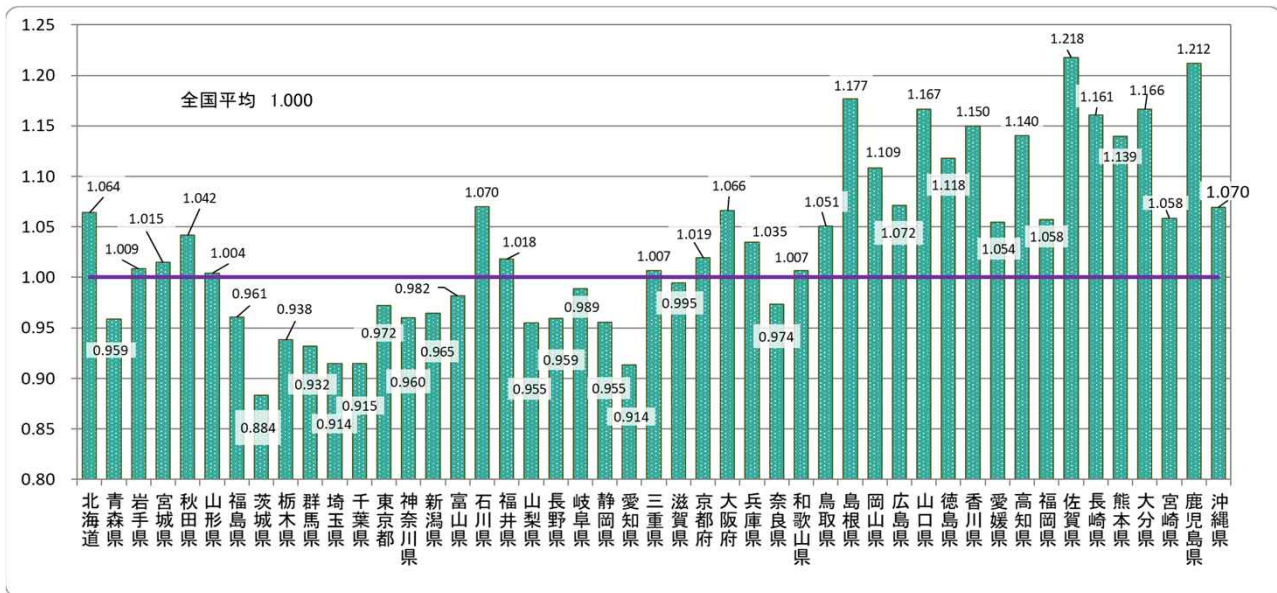
年齢階級 (歳)	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74
沖縄-全国 (差額)	-12,411	-34,258	-33,683	-8,658	-548	2,420	12,061	-2,942	-7,863	1,490	2,087	1,213	-1,548	58,133	68,971

※端数処理の関係で(図14)と一致しない数字がある。

- 年齢階級別における全国平均と本県の一人当たり医療費の差は、25~34歳、45~59歳及び65~74歳(前期高齢者)において、全国平均より大きい。
- 特に、本県の65~74歳(前期高齢者)における差は大きい。

図15

医療費の地域差指数（令和2年度・都道府県別）



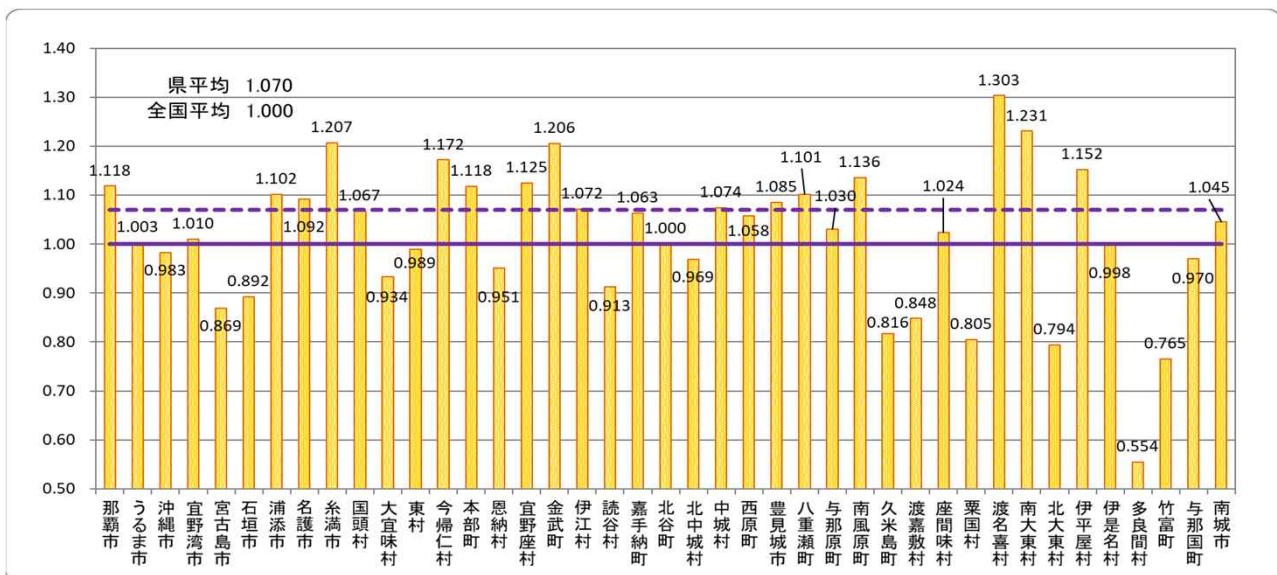
(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度（2020年度）医療費の地域差分析」



- 都道府県別で見ると、佐賀県(1.218)が最も高く、以下、鹿児島県(1.212)、島根県(1.177)となっている一方、指数の低い地域は、茨城県(0.884)、愛知県(0.914)、埼玉県(0.914)となっている。北海道と西日本は高く、東日本は低い傾向にある。

図16

医療費の地域差指数（令和2年度・県内市町村別）



(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度（2020年度）医療費の地域差分析」



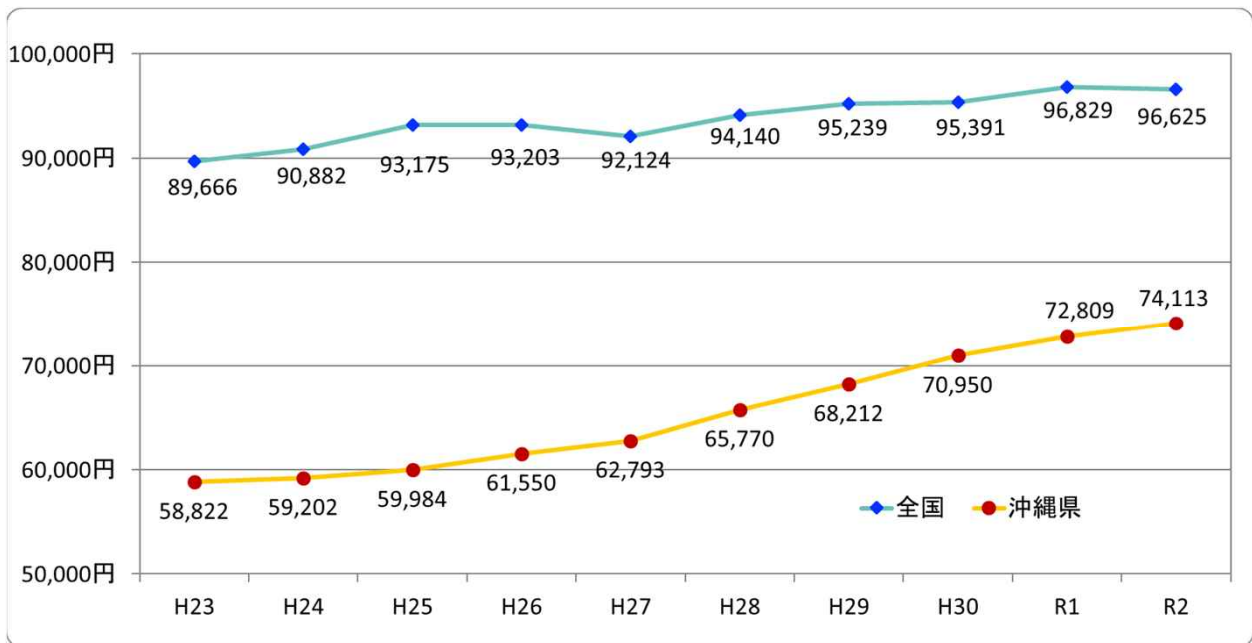
- 県内市町村別で見ると、渡名喜村(1.303)が最も高く、以下、南大東村(1.231)、糸満市(1.207)となっている一方、指数の低い市町村は、多良間村(0.554)、竹富町(0.765)、北大東村(0.794)となっている。

# 6

## 一人当たり保険料(税)調定額

- 令和2年度の一人当たり調定額(現年分)は、全国平均 96,625円に対し、本県は74,113円と 22,512円 下回っていて全国で最も低いが、全国平均との差は縮まりつつある。(図17)
- 本県は、全国第46位の福島県(78,848円)と比較して 4,735円 下回っている。(図18)
- 県内では、北大東村(105,395円)が最も高く、粟国村(43,482円)が最も低い。(図19)

**図17** 一人当たり保険料(税)調定額の推移 (平成23年度～令和2年度)



(出所) 厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報」各年度



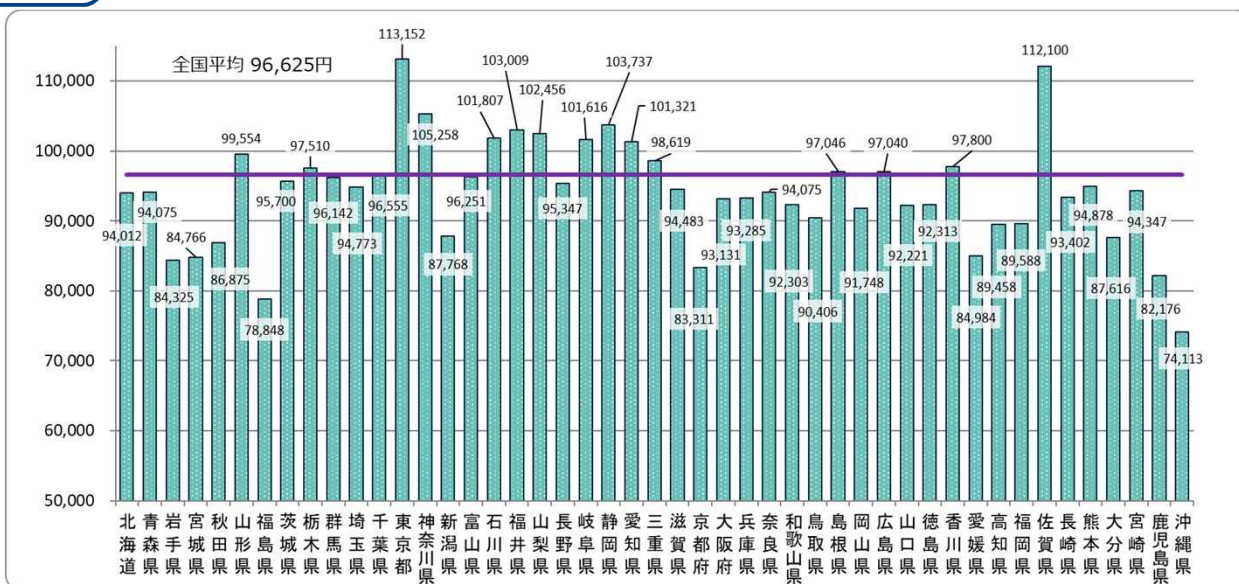
(参考) 本県の保険料(税)調定額(総額)と一人当たり保険料(税)調定額の推移



一人当たり調定額は、保険料(税)率の引き上げ等により、増加傾向にある。

図18

一人当たり保険料(税)調定額 (令和2年度・都道府県別)



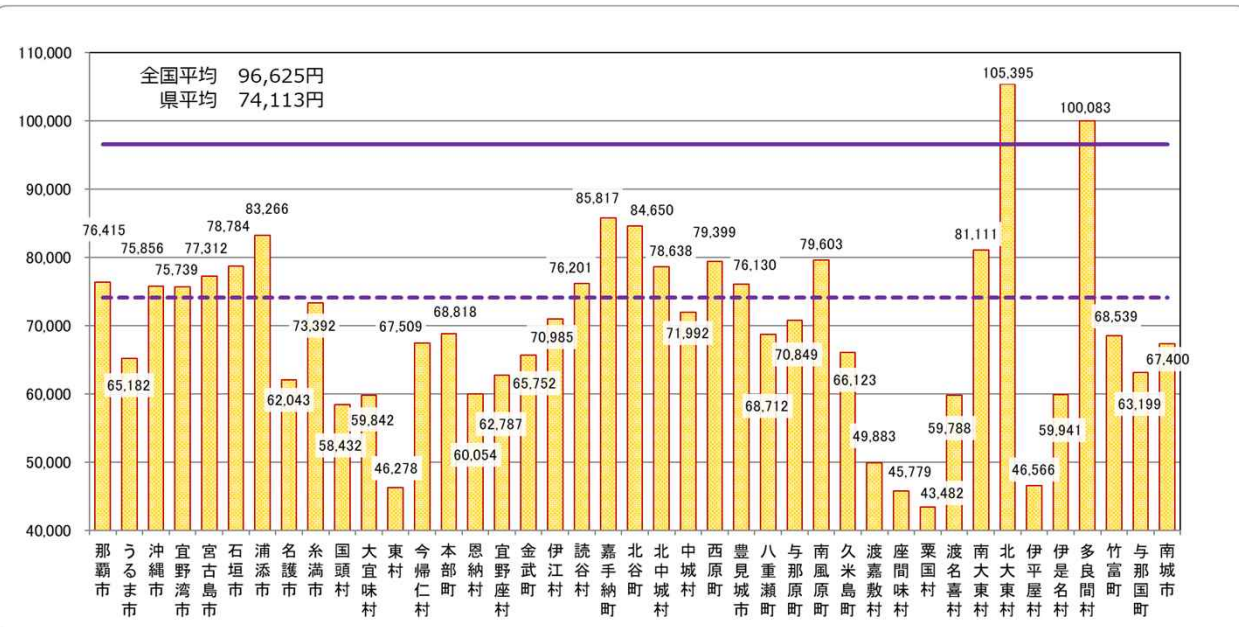
(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険事業年報」



- 都道府県別にみると、東京都(113,152円)が最も高く、以下、佐賀県(112,100円)、神奈川県(105,258円)となっている。調定額の低い県は、沖縄県(74,113円)、福島県(78,848円)、鹿児島県(82,176円)となっており、最大で39,039円の差がある。

図19

一人当たり保険料(税)調定額 (令和2年度・県内市町村別)



(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険事業年報」



- 県内市町村別にみると、北大東村(105,395円)が最も高く、以下、多良間村(100,083円)、嘉手納町(85,817円)となっている。調定額の低い市町村は、粟国村(43,482円)、座間味村(45,779円)、東村(46,278円)となっており、最大で61,913円の差がある。



# 7

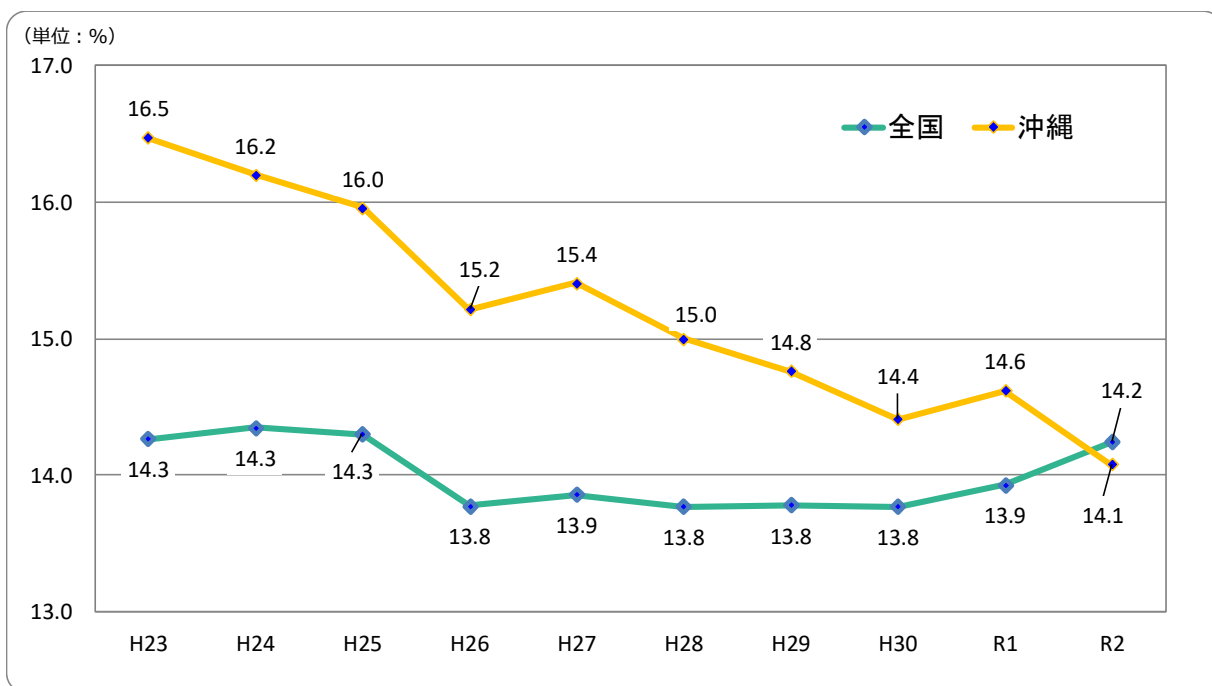
## 一人当たり保険料(税)負担率

- 令和2年度 一人当たり保険料(税)負担率は、  
全国 14.2% 本県 14.1%  
となっており、本県は全国平均を 0.1ポイント下回っている。(図20)
- 九州各県と比較すると、本県の保険料(税)負担率は九州で最も低い。(図21)
- 県内では、多良間村(24.1%)が最も高く、北大東村(7.6%)が最も低い。(図22)
- 小規模町村は医療費の増減の影響を受けやすいため、一人当たり保険料(税)調定額の増減が大きい。

※一人当たり保険料(税)負担率 = 一人当たり保険料(税)調定額 / 一人当たり課税標準額

図20

一人当たり保険料(税)負担率の推移 (平成23年度～令和2年度)



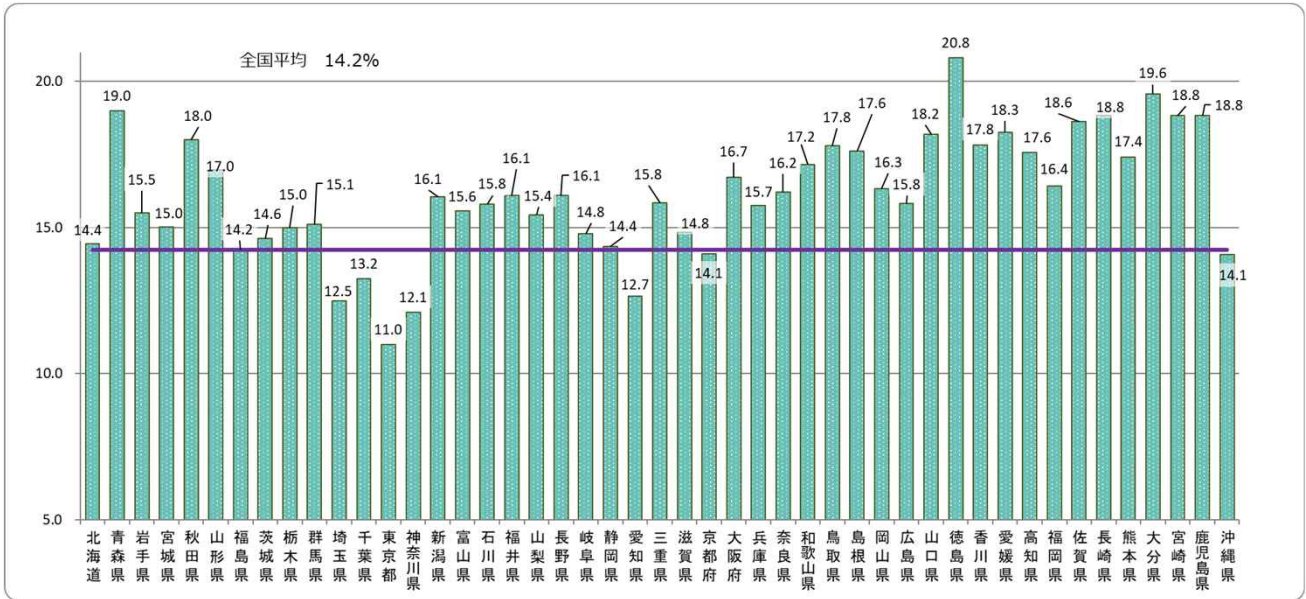
(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険事業年報」、「国民健康保険実態調査」より沖縄県作成



- 全国平均は概ね横ばいで推移しているが、本県は減少傾向にある。
- 本県の負担率は、令和元年度までは全国平均を上回っていたが、令和2年度は全国平均を下回っている。

図21

一人当たり保険料(税)負担率 (令和2年度・都道府県別)



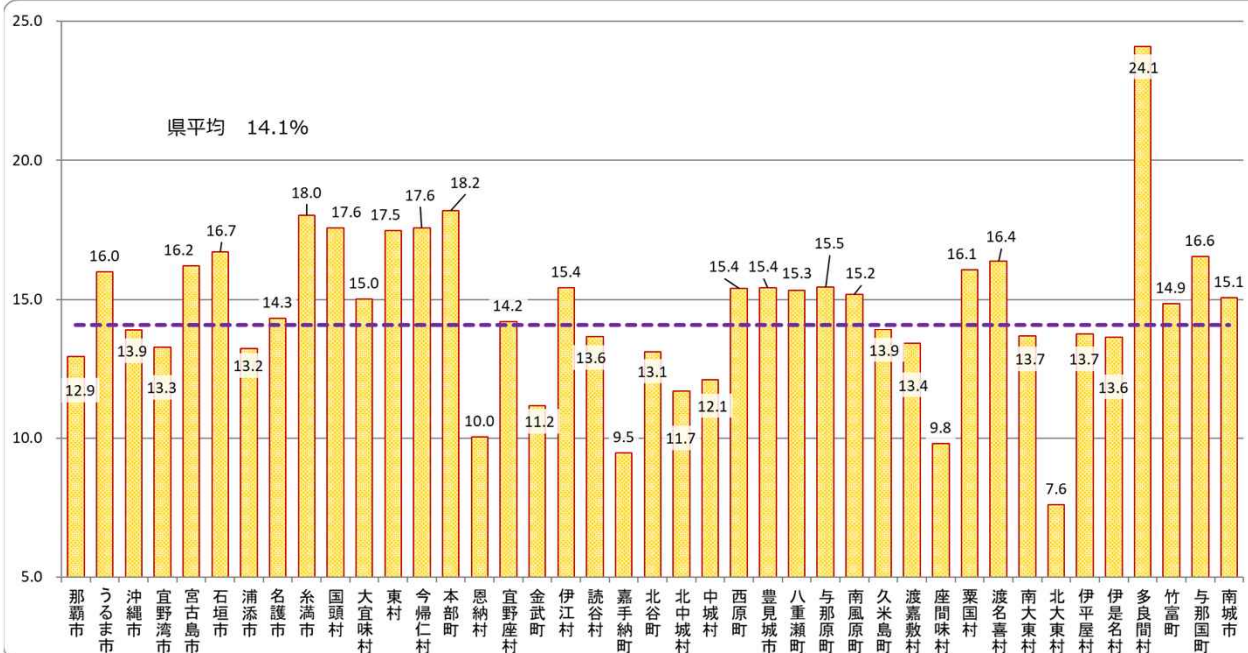
(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険事業年報」、「国民健康保険実態調査」より沖縄県作成



都道府県別にみると、徳島県(20.8%)が最も高く、以下、大分県(19.6%)、青森県(19.0%)となっている一方、東京都(11.0%)が最も低く、次いで神奈川県(12.1%)、埼玉県(12.5%)となっており、最大で 9.8ポイントの差がある。

図22

一人当たり保険料(税)負担率 (令和2年度・県内市町村別)



(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険事業年報」、「国民健康保険実態調査」より沖縄県作成



県内市町村別にみると、多良間村(24.1%)が最も高く、以下、本部町(18.2%)、糸満市(18.0%)となっている。最も低い市町村は北大東村(7.6%)で、以下、嘉手納町(9.5%)、座間味村(9.8%)となっており、最大で 16.5ポイントの差がある。  
 一人当たり課税標準額が低い市町村は、一人当たり保険料(税)負担率が高くなる傾向にある。

# 8

## 保険料(税)収納率

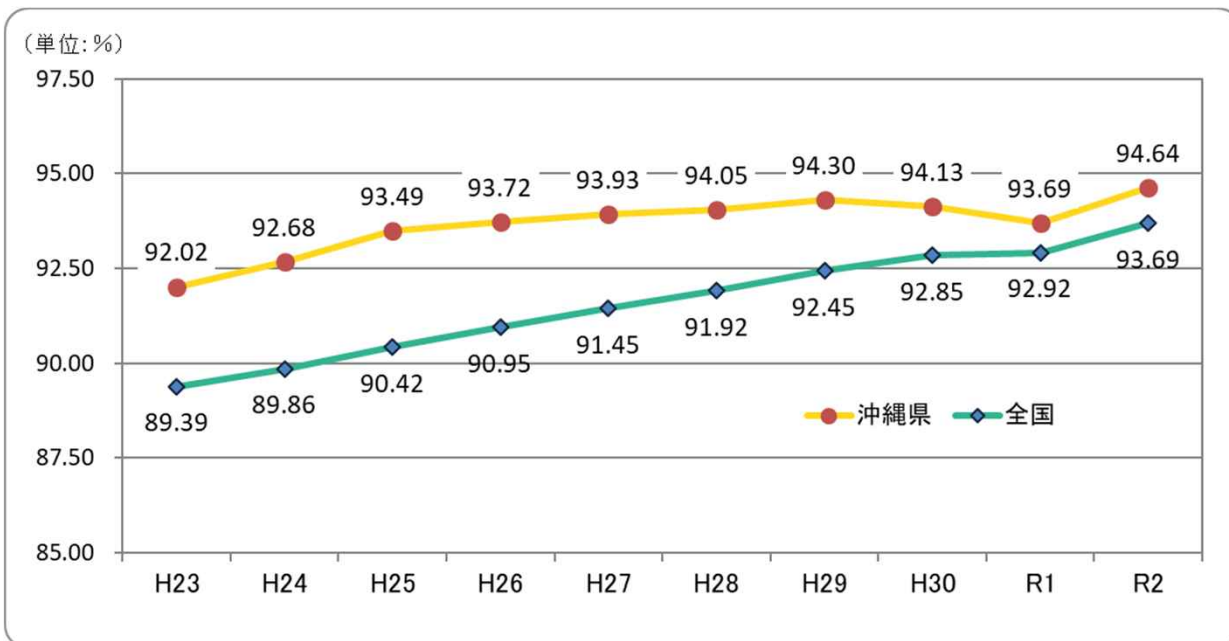
- 本県の保険料(税)収納率は、平成27年度で全国第6位と上位の水準であったが、近年は全国平均の向上に伴い、全国平均と本県との差は縮小している。(図23)
- 令和2年度における保険料(税)収納率(現年分、一般+退職)は、全国93.69% 本県94.64%(全国第27位)となっている。(図24)
- 県内では、栗国村(100%)と北大東村(100%)が最も高く、北谷町(92.49%)が最も低い。(図25)

※ 収納率 = 保険料(税)収納額 / (保険料(税)調定額 - 居所不明者分調定額)

(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険事業年報」

図23

保険料(税)収納率の推移(平成23年度~令和2年度)



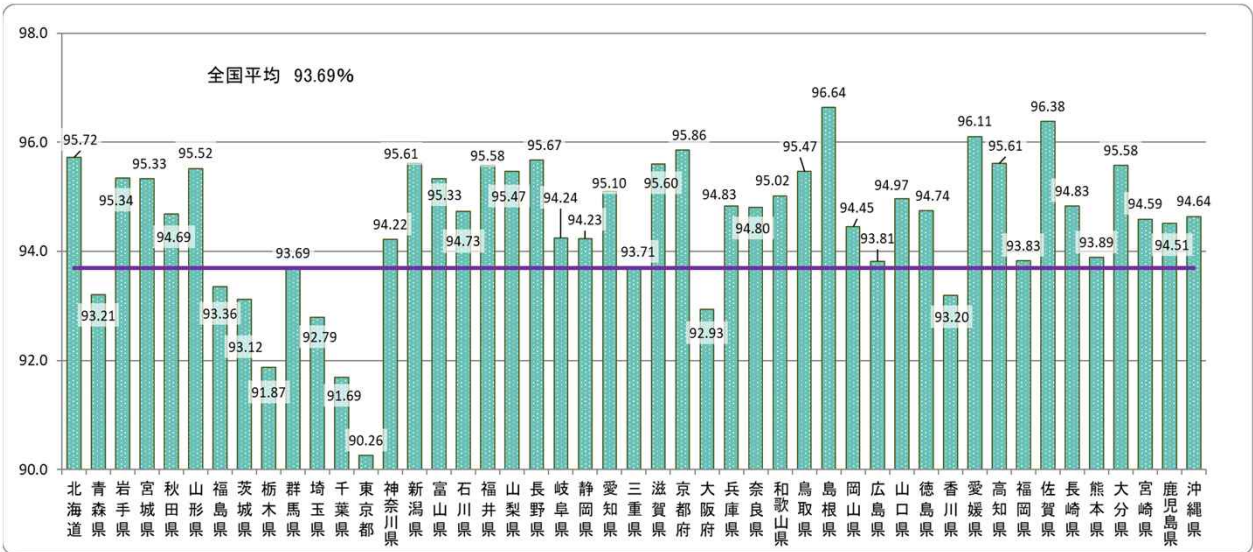
(出所) 厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報」各年度



▶ 本県の保険料(税)収納率は、全国平均を上回っているが、その差は縮まりつつある。

図24

保険料(税)収納率 (令和2年度・都道府県別)

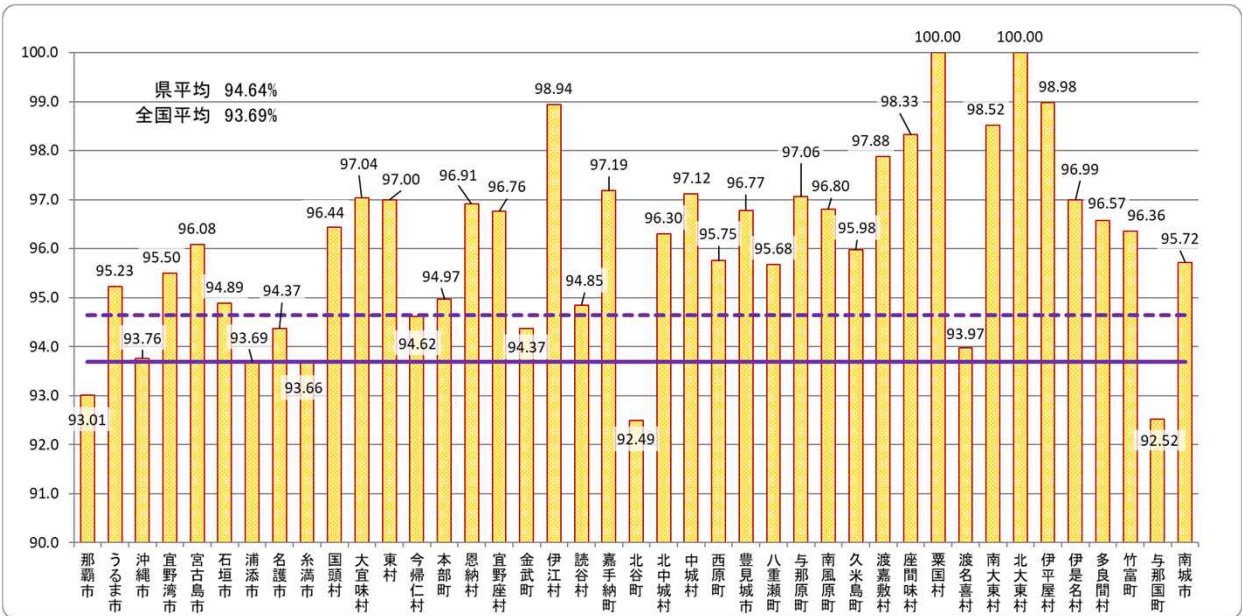


(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険事業年報」

- ▶ 都道府県別にみると、島根県(96.64%)が最も高く、以下、佐賀県(96.38%)、愛媛県(96.11%)となっている一方、東京都(90.26%)が最も低く、次いで千葉県(91.69%)、栃木県(91.87%)となっており、最大で6.38ポイントの差がある。
- ▶ 全国平均は93.69%だが、全国平均以下は9都府県に留まる。(※参考 中央値：94.74%)

図25

保険料(税)収納率 (令和2年度・県内市町村別)

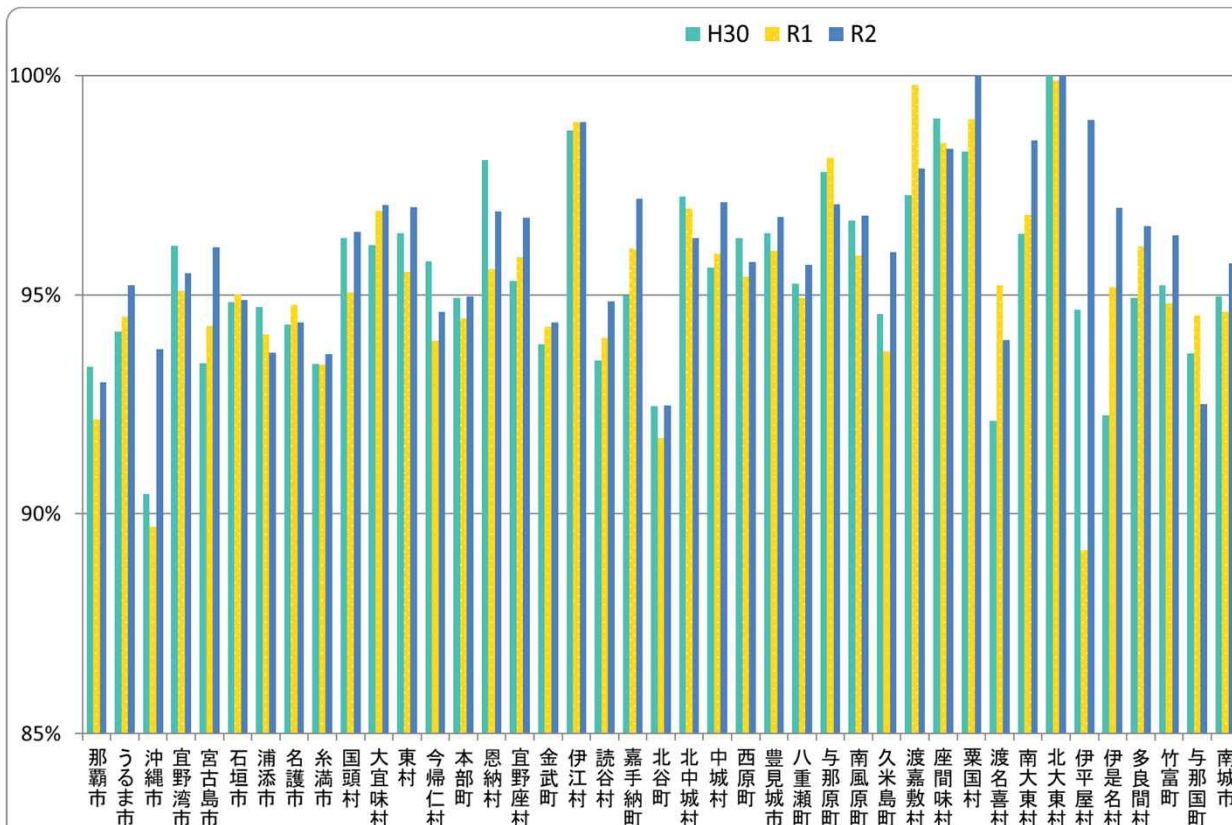


(出所) 厚生労働省保険局「令和2年度国民健康保険事業年報」

- ▶ 県内市町村別にみると、粟国村(100%)及び北大東村(100%)が最も高く、以下、伊平屋村(98.98%)、伊江村(98.94%)となっている一方、北谷町(92.49%)が最も低く、次いで与那国町(92.52%)、那覇市(93.01%)となっており、最大で7.51ポイントの差がある。
- ▶ 県平均値は94.64%、中央値は96.30%となっている。

図26

保険料(税)収納率の推移 (平成30~令和2年度・県内市町村別)



(出所) 厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報」各年度

	H30	県内順位	R1	県内順位	R2	県内順位
那覇市	93.36	37	92.16	38	93.01	39
うるま市	94.17	31	94.50	29	95.23	28
沖縄市	90.45	41	89.69	40	93.76	36
宜野湾市	96.12	16	95.10	21	95.50	27
宮古島市	93.44	35	94.30	31	96.08	22
石垣市	94.83	26	95.02	23	94.89	30
浦添市	94.72	27	94.10	33	93.69	37
名護市	94.32	30	94.77	26	94.37	33
糸満市	93.43	36	93.41	37	93.66	38
国頭村	96.30	13	95.07	22	96.44	19
大宜味村	96.14	15	96.92	8	97.04	11
東村	96.41	10	95.52	17	97.00	12
今帰仁村	95.76	17	93.96	35	94.62	32
本部町	94.94	24	94.47	30	94.97	29
恩納村	98.08	5	95.59	16	96.91	14
宜野座村	95.32	19	95.87	15	96.76	17
金武町	93.87	32	94.28	32	94.37	33
伊江村	98.74	3	98.93	4	98.94	4
読谷村	93.51	34	94.02	34	94.85	31
嘉手納町	94.99	22	96.05	11	97.19	8
北谷町	92.46	38	91.72	39	92.49	41

	H30	県内順位	R1	県内順位	R2	県内順位
北中城村	97.24	8	96.97	7	96.30	21
中城村	95.62	18	95.94	13	97.12	9
西原町	96.29	14	95.41	18	95.75	24
豊見城市	96.41	10	96.00	12	96.77	16
八重瀬町	95.25	20	94.94	24	95.68	26
与那原町	97.80	6	98.12	6	97.06	10
南風原町	96.70	9	95.89	14	96.80	15
久米島町	94.56	29	93.72	36	95.98	23
渡嘉敷村	97.28	7	99.78	2	97.88	7
座間味村	99.02	2	98.45	5	98.33	6
栗国村	98.27	4	99.00	3	100.00	1
渡名喜村	92.13	40	95.22	19	93.97	35
南大東村	96.39	12	96.83	9	98.52	5
北大東村	100.00	1	99.88	1	100.00	1
伊平屋村	94.66	28	89.17	41	98.98	3
伊是名村	92.26	39	95.17	20	96.99	13
多良間村	94.93	25	96.11	10	96.57	18
竹富町	95.23	21	94.81	25	96.36	20
与那国町	93.67	33	94.54	28	92.52	40
南城市	94.97	23	94.61	27	95.72	25
県平均	94.13		93.69		94.64	